

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こばんはうすさくら運河駅前教室（児童発達支援）	公表日	令和7年11月20日				
		保護者数	11	回収数(回収率)	10 (90.9%)		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい 9	どちらともいえない 1	いいえ	わからない	ご意見 広々としていると思います。	ご意見を踏まえた対応 利用児の導線を考え、ぶつけないなど危険な場所がないように整える等、定期的に安全点検を行っていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10				いつも手厚く見ていただいていると思います。	適切な人数を配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10					利用児に合わせた環境づくりを心掛けていきます。絵をつけて分かりやすく表示するなど、室内の掲示物等も工夫しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10				いつも整理整頓され、綺麗な教室だと思います。	毎日の清掃、週ごとの清掃等、チェックリストを用いて、抜けがないように清掃を行っていきます。またコロナやインフルエンザ流行期には、おもちゃや絵本等の毎日の消毒を行っていきます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1			個々の支援ではなく、毎年決められたプログラムをこなしていくので、どこまで我が子に必要な支援が行われているのかは分かりません。お話ししていく中で対応していただいているので、支援が受けられてるとは感じております。先生方にどこまでの専門性があるか分からず、また劇的な変化が出づらい事でもあるかと思いますので、こちらの回答とさせていただきました。	全職員有資格者（保育士、教員等）を配置しております。定期的な職員の研修会や勉強会等の開催を設け、職員の教育に力を入れています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					引き続き5領域に沿った支援プログラムを組んで提供していきたいと思います。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	1			定期的に面接があり、支援計画を作成いただいています。	まず面接等でじっくりお話しします。児童発達管理責任者含め職員間でのカンファレンスや、保護者、利用児とのコミュニケーションを大切にし、計画していきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	1				ガイドラインを基に、支援計画の内容が職員と共有できるよう、ミーティングや朝礼、昼礼、終礼での確認をし、途中で支援計画変更の必要が出た場合は、都度変更、修正していきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					個々の発達に合わせ、無理のない、有益な療育ができるよう計画しています。個別支援計画を職員全員が理解した上で療育ができるよう、各自支援計画の確認をすることはもちろん、朝礼、昼礼、終礼での共有をしていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9			1	去年より多少変化はあるかなと思います。ですが主な内容としては、去年と同じものもあり、個々にあった支援かどうかは分かりません。	プログラムは、その季節に合わせた活動を心掛け、食育では旬のものを取り入れるよう工夫をして行っています。子どもたちの発達に合わせて、同じプログラムでも取り組み方を工夫しています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	1	2	お話しや相談などさせていただければお返事をいただけたり、幼稚園の先生とお電話していただく事はできております。ただ現在幼稚園での困りごとが減らず、さらに幼稚園との交流がスムーズになれば良いなと思いました。	現在、他の幼稚園等と関わる機会を計画できています。コロナやインフルエンザ等の感染状況が改善した後、今後の課題として検討していきます。また関係機関との連携を図りながら支援の方向性を都度確認していきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10				契約時に説明を受けました。	契約時に児童発達支援管理責任者が書面をお渡ししつつ、説明をさせていただきます。その後も、利用者負担額等が変わった時には、書面を作成しなおし、都度ご説明します。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10				面談の時、支援計画を見ながら説明がありました。	半年に一度のモニタリング時等、心配事があった場合等、都度お電話や面談をさせていただいております。

保護者への説明等	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	3	2	4	お話し、相談すればお返事やアドバイスなどいただけることもありますが、困っていることに関して、解決策がなく終わってしまうこともあります。日々情報提供はしっかりと行っていただいております。	悩み等あれば、お電話や面談でご相談に応じています。悩みの解決の糸口が見つかるよう努力してまいります。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解がでていると思いますか。	10				お迎えの時、先生方と情報共有がでていると思います。	送迎時は時間を取ってのお話ができないため、何か追加でお話する必要がある場合は、職員と連携しつつ、児童発達支援管理責任者よりご連絡させていただきます。またモニタリング時に限らず、ご要望があれば、都度お電話でのご相談や面談をさせていただきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	2			相談事があれば、お迎えの時に話を聞いていただいています。	半年に一度のモニタリングの他、心配事があった場合等、都度お電話や面談をさせていただきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	2				利用児、保護者に寄り添いながら、安心し信頼していただけるよう、こまやかな配慮と情報共有・連絡を行い、支援を行ってまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2	3	5	保護者同士の関わりはほぼ無いため分かりません。	今後コロナやインフルエンザ等の流行状況を注視しつつ、計画をしたいと思っています。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1	1	2		保護者から連絡いただいた事項等は、連絡票に記載する習慣をつけ、ミーティング等で職員間の情報共有をしており、対応していきます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	1				心配事などあれば、いつでもお電話や面談などでお伺いします。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9			1	日々の活動を教えていただいたりしております。	「こばんはうすくらだより」にて、行事等のプログラムを記載しております。「こばん通信」では、前月の行事等の様子を写真付きでご紹介しています。今後も様子が分かるような配信をしていきたいと思います。
	22 個人情報の取り扱いに十分に留意されていると思いますか。	10					個人情報の取り扱いについては、職員研修等で指導しています。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			1		書面作成し渡ししています。避難訓練の様子もこばん通信等でご紹介しています。また外出で防災センターに行って実際に体験する活動も行っています。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10					定期的に避難訓練をプログラムに入れてています。利用児もスムーズに動けるようになってきているので、引き継ぎ訓練を行っていきたいと思います。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9			1		安全計画について施設内に掲示されています。保護者の方にも、こばん通信等を通じて計画や実施報告を行っています。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8			2		現時点で事故や怪我の発生はございません。発生した場合には、速やかに連絡をし、状況等について説明を行います。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	9	1			不安を感じやすいため、不安をいだくこともあるようです。	利用児の気持ちに寄り添い、支援を行っています。一人一人に合わせた丁寧な対応をし、居心地よく過ごしていただけるよう取り組んでいきたいと思います。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	7	3			内容によって差が出ます。	楽しみながら療育に繋がるようなプログラムを計画していきます。曜日ごとに偏りがないよう、バランスの良いプログラムを心掛けています。また、個々の発達に合わせ、無理のない有益な療育ができるよう、心掛けていきたいと思います。
	29 事業所の支援に満足していますか。	10				とても楽しく通っています。ありがとうございます。	今後もご満足いただける支援を続けられるよう、職員間で連携し、療育をしていきたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果				公表日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 十分なスペースを確保している。死角となる場所があるので、常に目が届くように注視している。 活動に合わせてスペースを区切って工夫している。 	・目が行き届くように配置を工夫していく。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 余裕をもった職員数で支援している。また、子どもに合わせて1対1もしくはそれ以上で対応をしている。 規定より多い人数を確保し、安全に配慮している。 		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 絵や写真を表示して視覚的にわかりやすいように工夫している。危険がないようにロックや仕切りをしている。 1日のスケジュールをイラストを用いてホワイトボードに掲示している。 	・表示が取れかかっていないか、危険などころがないか日々整備する。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> チェックリストを用いて毎日清掃、消毒をしている。 	熱中症の心配などもあるので、室温についての注意と、エアコンの清掃管理が必要だと思う。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 状況に応じて個室またはパーテーションなどで空間を仕切る工夫をし、使用している。 		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼での確認と、終礼で振り返りを必ずしている。 ミーティングや研修が定期的に行われている。 	・シフトにより参加できない職員にも分かるよう振り返りノートに記載し共有していく。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 本部のHPに公開されている。ミーティングで保護者の意見を確認している。 	・毎年アンケートを職員で共有し、改善につなげていく。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 日々の朝礼昼礼でも意見交換をしており、年に1回アンケートを行い職員で共有し、改善につなげていく。 ミーティングで意見交換をして改善に努めている。 		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> こはんはうすさくら本部の訪問が定期的にあり、指導を受けている。 		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 社内勉強会の他、本部研修、市の外部の研修にも積極的に参加している。 	・一度に全員が集まることが難しい場合、複数回に分けて開催する。	
児童発達支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> こはんはうすホームページに公表しており、利用者の保護者にはHUGシステムを利用して送っている。 季節や子どもの状況に合わせたプログラムを実施している。 		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達管理責任者が作成した支援計画に設定されている。一人ひとりの発達段階、課題に合わせ支援ができるよう共有している。 聞き取りシートを利用して、ニーズや課題の把握・分析をしている。 		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達管理責任者が保護者の面談と直接支援している職員からの聞き取りを基に計画を作成し、職員に共有している。 朝礼の際に情報共有をし、共通理解につなげている。 		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 児童ごとに作成された個人ファイルの内容を職員が把握し、支援している。 	・ミーティング及び出勤時に計画を確認する。	

適切な支援の提供	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・どちらも確認している。 ・HUGアプリを活用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・児童発達管理責任者が作成した支援計画に設定されている。一人一人の発達段階、課題に合わせ支援ができるよう共有している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・児童発達管理責任者と管理者を中心に、支援員と相談しながら立案、準備運営を行っている。	・個々の発達段階を踏まえながら、有益な活動となるように計画している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・季節に応じ毎月異なるプログラムを作成、曜日で偏らないよう工夫している。 ・メインのプログラムの他にその日の子どもの発達に合う様々な活動を取り入れている。	・毎年似たような内容になっているので工夫が必要である。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・発達段階などに応じ、個人の目標、集団での目標を決め、計画している。 ・プリント等の個別に取り組むときと集団で活動する時間を組み合わせて支援している。	・個別、集団どちらかに偏らないように作成していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・毎日朝礼をしてその日の支援について確認を行っている。	・前もって確認し、相談できる時間を作る。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・終礼を必ず行っている。振り返りノートを活用し、その日出勤していない職員にも共有している。	・途中で退勤した職員やその日出勤していない職員も、日報や振り返りノートは必ず確認する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・振り返りノートを活用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・半年に1度モニタリングの他、必要があればそれ以外でも見直しを行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・児童発達管理責任者が参加し、連携している。	・会議の記録をとり、職員で共有し保管している。
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・児童発達管理責任者が直接訪問したり、相談支援専門員の先生を通して連携している。	・常に連携がとれる体制を整えておく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・児童発達管理責任者が直接訪問したり、相談支援専門員の先生を通して連携している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・児童発達管理責任者が情報共有を行っている。	・常に連携がとれる体制を整えておく。 ・会議の記録をとり、職員で共有、保管している。
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			・センターの担当者と連絡したり、保護者や保育園を通して連携している。	・他施設との交流は安全面の配慮から難しいことが多い。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	2	4	・系列の他事業所と合同で行う行事があり、いつもと違う子たちともかかわる機会を設けている。	

保護者への説明等	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・電話相談やHUGシステムのチャットを活用し、共通理解を持っている。送迎時はゆっくりと時間がとれないので、児童発達管理責任者から連絡するようにしている。	・小さな変化でも情報共有していくように心掛ける。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・モニタリング時に個別で行っている。	・現在は市での実施がないため、児童発達管理責任者がフォローしている。 ・研修の機会を設ける予定で動いている。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時に重要事項説明書で説明をしている内容に変更があればお伝えしている。 ・運営規定を教室に掲示し、いつでも読めるようにしている。	・体制が変わった時にも、都度ご説明するようにする。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・児童発達管理責任者が面談し、ご意向を確認した上で作成している。 ・保護者の意見と子どもの意見が異なることもある。丁寧に様子を伝えて同意をいただきサインをしてもらっている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・面談で説明し、同意のサインを得ている。 ・利用開始時にモニタリングで計画を提示しながら説明をし、同意いただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・モニタリング以外でもHUGシステムを通じてご連絡いただいている、適宜対応している。	・普段から児童や保護者の様子に変化がないか気を配っておく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		・現状は感染症が流行してからは行っていない。状況を見ながら保護者の交流会を検討していきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・チャット機能を使えるようになり、以前より気軽にご連絡いただけるようになったと思う。 ・相談等があれば児発管に連絡し、対応している。	・対応記録をとり、職員に共有している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・毎月こばん通信(プログラムのお知らせや活動報告)をHUGシステムで配信している。写真付きで工夫している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・定期的なミーティングで取り扱いについて確認を行っている。鍵付き書庫で保管し、個人情報の持ち出しが禁止されている。 ・個人情報を破棄するときには必ずシミュレーターを使用している。	
非常時等の対応	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・保護者にチャットでご連絡したり、送迎時にコミュニケーションを取っている。 ・絵カードを利用するなど、分かりやすく心掛けている。	・保護者にも口頭のみで伝わりづらい場合はチャットや手紙にするなどして伝える。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		・児童の安全や感染症の危険があり、開催は難しいと感じる。いい方法があれば検討したい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・マニュアルは事務所のわかりやすいところに掲示している。訓練は定期的に行い、内容の記録や反省点を話し合っている。 ・研修を行い職員への周知をしている。保護者向にもHUGで防災のお便りを出している。	・マニュアルの点検、修正も都度行う必要がある。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・業務継続計画(BCP)を策定し、避難訓練は年間を通してどの曜日もできるようにプログラムに取り入れ行っている。	・その時の状況に応じて、どう避難すればよいかそれぞれが考え、全員で振り返る。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	・契約時や面談時に保護者に確認している。個人ファイルに保存し共有できるようにしている。	・利用後に発症した場合など、すぐに職員に共有し対応していく。
非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・契約時や面談時に保護者に確認しており、アレルギーカードを作成し、おやつの際はダブルチェックを必ずしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・研修、必要な措置を講じている。 ・安全計画のマニュアルをファイリングしている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・避難先場所の共有、緊急連絡先の登録を1年に1度確認・更新している。	

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・ヒヤリハットファイルを使い、共有している。また、朝礼や終礼で情報共有している。	・個々でヒヤリハット案件の判断基準が異なるので小さなことでも出来事として共有していく。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・年に1、2回の研修、都度のミーティングを行っている。 ・虐待研修をしている。チェックリストを用いて確認している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	・支援計画に記載、説明をしている。	・日々のミーティングでも確認する。